



製品安全データシート

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成21年12月14日

化学物質等のコード :1675-0322

化学物質等の名称 :フタロシアニン鉛

2.危険有害性の要約

分類の名称;急性毒性物質

危険性;可燃性であるが、通常の取扱で発火などの危険性は低い。
有害性;眼、鼻、のど、皮膚を刺激する。吸入したり、飲み込んだ場合、鉛中毒になることがある。四肢の麻痺、痙攣が特徴で、顔面蒼白、嘔吐・下痢・血便・脈頻・腎障害を起こし死亡することがある。症状は遅れて出ることがある。(鉛化合物)

環境影響;データなし

3.組成、成分情報

化学名 フタロシアニン鉛
別名:(フタロシアニナト)鉛(II)
含有量 90.0 %
化学式・分子量 Pb(C₂H₁₆N₈)=719.73
化審法公示番号 設定されていない
CAS No.15187-16-3
危険有害成分 フタロシアニン鉛

4.応急処置

目に入った場合;直ちに多量の流水で15分以上洗い流し、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付いた場合;多量の水で石鹸を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合 1%硫酸マグネシウムまたは硫酸ソーダの水溶液を大量に飲ませて吐かせた後、5%チオ硫酸ソーダ溶液(ハイポ)または0.05gの吐酒石を水にとかし
誤飲した場合 たものを10分ごとに与えるか或いは、大量の牛乳、生卵等を飲ませ医師の手当てを受ける。

5.火災時の処置

消火方法;火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。着火した場合消火剤を用い消火する。消火作業の際には、必ず保護具を着用する。

消火剤;水(噴霧)、粉末、泡、二酸化炭素

6.漏出時の措置

飛散したものはできるだけ空容器に回収する。そのあとを多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず護具を着用し、風下で作業をしない。
この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- ・吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・取扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密封する。
- ・漏れ、飛散しないようにし、粉塵を発生させないようにする。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
- ・作業後には手洗い、うがい、入浴を励行する。

保管

- ・容器は直射日光を避け、25℃以下で貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
- その他 毒物及び劇物取締法の法令に定めるところに従う。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 作業環境評価基準; 0.05mg/m³(鉛として)
許容濃度 日本産業衛生学会勧告値; 0.1 ppm (鉛として)
ACGIH (TLV); TWA 0.15mg(Pb)/m³

OSHA (PEL) ; air TWA 0.05mg(Pb)/m³

設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
- ・取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、保護衣、防塵マスク(火災時:空気呼吸器)

9.物理的及び化学的性質

外観 粉末固体
臭気 データなし
蒸気圧 データなし
沸点 データなし
比重 データなし
融点 データなし
溶解度 水に不溶。塩酸、硫酸に溶ける。
多くの有機溶剤に不溶。
ピリジン、キノリン、
ニクロルナフタレンに溶ける。

10.安定性及び反応性

引火点 データなし
爆発範囲 データなし
発火点 データなし
安定性・反応性 通常の取扱条件において、安定である。
硝酸、過マンガン酸カリウム、硫酸セシウム()、等によって酸化され、
フタルイミドとアンモニウム塩になる。

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性 データなし
刺激性 データなし
変異原性 データなし
発がん性 有機鉛化合物として、
IARC: グループ3(ヒトに対する発がん性については分類できない)に分類。
日本産業衛生学会: 「第2群B」人間に対しておそらく発がん性があると考え
られる物質(証拠が比較的十分でない物質)に分類。
慢性毒性 鉛化合物として、
疲労、頭痛、四肢の感覚障害、けいれん、排尿障害、顔面蒼白、嘔吐・下痢・
血便・脈頻・腎障害を起こし死亡することがある。
又、女子の場合には、不妊症、流産、死産等が起こるおそれがある。

12.環境影響情報

魚毒性 データなし
残留性/分解性 データなし
生体蓄積性 データなし

13.廃棄上の注意

燃焼固合法

おがくず等にまぜて焼却炉で燃焼し、焼却灰はセメントを用いて固化し、溶出試験を行い、溶出量が
判定基準以下であることを確認して埋立処分する。

14.輸送上の注意

毒物及び劇物取締法などの法令に定めるところに従う。
容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無
いように積み込み、荷くずれ防止を確実に進行。

国連分類 : 6.1(毒物) PG
国連番号 : 2291 (鉛化合物P(水溶性))
海洋汚染物質 : 該当(P)

15.適用法令

労働安全衛生法 : 非該当
化学物質管理促進法(PRTR法): 特定第一種指定化学物質 No.305 「鉛化合物」
(改正前PRTR法 : 第一種指定化学物質 No.230 「鉛及びその化合物」)
消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 劇物 包装等級
船舶安全法(危規則) : 毒物類
航空法 : 毒物

海洋汚染防止法 : 海洋汚染物質(P物質)
大気汚染防止法 : 有害物質(施行令第二条第一項第三号)
水質汚濁防止法 : 有害物質(第二条第二項)
土壌汚染対策法 : 特定有害物質

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。